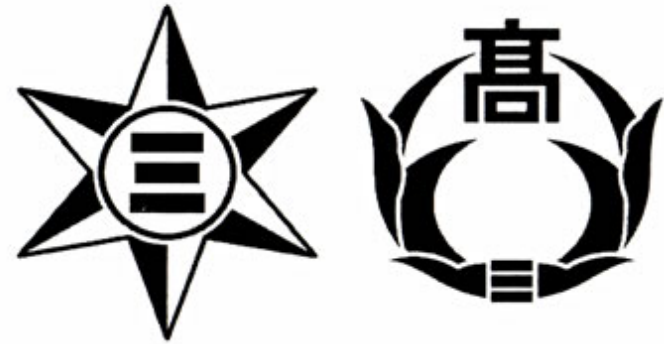


大阪府立八尾高等学校柔道部 創部100周年記念式典



日時 平成 24 年 10 月 28 日
会場 大阪府立八尾高等学校
記念式典：視聴覚室
祝賀会：ゆかりホール

大阪府立八尾高等学校校歌

1、 若江堤に草もえて
金岡の山かすむ頃
心は躍り力はある
誠忠勇壮歴史の跡も
鮮やかにして

2、 高安山に照る月を
長瀬の川に映すとき
理想はひかり希望はある
雄大玲龍自然のさまも
うるわしくして

3、 見よ河内野のただ中に
教への基かためつつ
文化を進め富強を助く
剛健質実たゆまぬ元氣
幾春秋も

功労者表彰

指導者の先生	故	小川	敬一	様
指導者の先生	故	山口	順二	様
指導者の先生		小林	賢	様
歴代顧問長	故	高橋	博	様
歴代顧問長		藤井	栄吾	様
初代会長		福田	稔	様
第二代会長	故	金子	明雄	様
第三代会長		大見	學	様
第四代会長		藤本	正敏	様
第五代会長	故	奥村	信夫	様
第六代会長		太田	謙司	様
相談役		菱田	昌宏	様

ご挨拶

菊花薫るこの佳き日に、ご来賓の皆様方をはじめ八尾高柔道部OBORG会員の皆さま、ようこそ母校『八尾高校』において下さいました。

記念すべき八尾高柔道部創部100周年記念式典の開催をご案内させていただきましたところ、本日はこのように盛大に諸先輩方にお越しいただきましたことに心より感謝申し上げます。

さて、高校時代を思い返しますと、怖い先輩方より柔道は「礼に始まり、礼に終わる」ことを初めて教わり受身・寝技・打ち込み・乱取りと次第に柔道の魅力にのめり込んでいったことや、また日々の稽古は勿論のこと汗が止まらない夏合宿、早朝の寒稽古など、稽古稽古で限界まで自分を追い込むことをこの時初めて知ったような気がしました。いざ試合となれば部員一同が心ひとつに大きな声を張り上げ応援したことなど。

この強烈な思い出は、生涯忘れることのできないものでありこの青春時代を過ごした八尾高校を、また畳の上で流した汗を思い、今日この場が諸先輩方にとって世代を越えた語り合える場となりますことを願っております。

最後に、本日お集まりいただきました諸先輩方のこの記念事業に対する温かいご理解、ご支援に心から感謝申し上げます。

また、次の百年への決意とすることを願ひまして御礼のご挨拶といたします。

八尾高柔道部OBORG会会長
高28期 森山貴史

式次第

- | | | |
|--------|-------------|-----------------|
| 10:00～ | 第1部記念式典 | 司会 高36期 森川純子 |
| | 開式の言葉 | 実行委員長 高29期 安田重則 |
| | 黙祷 | 会員物故者への哀悼 |
| | 会長挨拶 | 高28期 森山貴史 |
| | 来賓の紹介 | |
| | 来賓ご挨拶 | |
| | 祝電披露 | |
| | 歴代会長紹介 | |
| | 現顧問挨拶 | 高35期 山本和広 |
| | 功労者表彰 | |
| | 表彰者代表挨拶 | 高5期 初代会長 福田稔 |
| | 記念品目録贈呈 | |
| | 記念品紹介 | |
| | 現役生より謝辞 | 高7期 香山博 |
| | 記念講演 | 実行委員長 高29期 安田重則 |
| | 閉式の言葉 | |
| 11:15～ | 記念撮影 | ピロティ受付前 |
| 11:30～ | 休憩・道場にて稽古見学 | |
| 12:00～ | 第2部 祝賀会 | 司会 高47期 岸伸行 |
| | 開会の言葉 | |
| | 乾杯の発声 | |
| | 思い出紹介 | 高13期 大見 學 |
| | 校歌斉唱 | 高35期 山本和広 |
| 14:30 | 閉会の言葉 | 副会長 高31期 長井博和 |